

授業改善書

科目名	日本経済論
担当者	相沢幸悦

授業の概要

2012年12月の安倍政権の登場で超円高・デフレから離脱したといわれていますが、「アベノミクス」といわれる経済政策はどういうものなのか、デフレ脱却に有効なのかということについて詳しく明らかにしました。

第二次安倍政権が誕生して6年以上経過しましたが、「アベノミクス」の功罪について講義しました。

本講義では、日本経済の歴史と現状、これからの方向について学生とともに考えるようにしました。

授業の問題点

日本経済論はなり分野が広く、複雑ですので、わかりやすく講義したつもりですが、やはりむずかしかったようです。

学生に、課題を出すようなこともあまりしませんでしたので、予習や復習をあまりしてもらえなかったようです。

黒板にあまり書かず、一方的な講義になってしまったきらいがあります。

学生に日本経済はどうなっているか、どうなるのかについて、考えてもらうような講義が必要だと思います。

授業改善の課題・方策

学生がノートをとりやすいような講義を心がけます。

「アベノミクス」については、多くの学生が興味を持ってくれましたので、なるべく身近なところから日本経済の仕組みをわかりやすく講義するようにします。

講義中に学生に質問したりしていますが、もっと質問して、学生に自分の頭で考えてもらうように心掛けます。

講義終了後に積極的に学生からの質問に積極的に答えるようにします。

その他

授業改善書

科目名	国際金融論
担当者	相沢幸悦

授業の概要

本講義では、まず国際金融市場の基本的仕組みを詳しく説明しました。とくに、外国為替市場の特徴と為替相場変動メカニズムについて説明しました。

そのうえで、第二次世界大戦後の米ドル体制の成立、ドル危機の進行、そして、ヨーロッパでのユーロ導入による、ユーロとドルの対抗、世界金融危機と欧州債務危機について明らかにしました。

授業の問題点

国際金融市場の仕組みはかなり複雑ですので、わかりやすく説明しましたが、まだ難しいようです。国際金融に関する新聞記事などを解説することもしました。

学生に、課題を出すようなこともあまりしませんでしたので、予習や復習をあまりしてもらえなかったようです。

黒板にあまり書かず、一方的な講義になってしまったきらいがあります。

学生に国際金融について、考えてもらうような講義が必要だと思います。

授業改善の課題・方策

ポイントをしっかりと、黒板に書くようにします。しかも、学生がノートを取りやすいようなわかりやすい講義を心がけるようにします。

為替相場の変動メカニズムなどについては、多くの学生が興味を持ってくれますので、国際金融市場の仕組みをわかりやすく講義するように努めます。

講義中に学生に質問したりしていますが、もっと質問して、学生に自分の頭で考えてもらうように心掛けます。

その他